

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会  
第6回 水化学管理分科会 (P11SC) 議事録 (案)

1. 日時 2009年1月26日(月) 13:30~17:00
2. 場所 日本原子力発電株式会社 本店 1階第8会議室
3. 出席者 (順不同、敬称略)  
(出席委員) 勝村(主査)、内田(副主査)、中村(年)(幹事)、水野、平野、黛、中村(武)、岡田、仲田、瀧口、荘田、高木、大橋(13名)  
(代理出席委員) 村井(磯部代理)[1名]  
(欠席委員) 寺地、会沢、高松、佐野、鈴木(良)(5名)  
(常時参加者) 渡辺、松浦、市川、伊東、久宗、猪俣、金岡、實重、伊藤、笠原(10名)  
(代理出席常時参加者) 浜口(真田常時参加者代理)(1名)  
(事務局) 岡村
4. 配付資料  
P11SC-6-1 第5回水化学管理分科会議事録(案)  
P11SC-6-2 PWR化学分析標準-ほう素(案)  
P11SC-6-3 PWR化学分析標準-溶存水素(案)  
P11SC-6-4 PWR化学分析標準-放射性よう素(案)  
P11SC-6-5 水化学管理分科会 標準原案策定概略スケジュール(案)  
P11SC-6-参考-1 「PWR化学分析標準-ほう素」に係るコメント対応一覧表  
P11SC-6-参考-2 「PWR化学分析標準-溶存水素」に係るコメント対応一覧表  
P11SC-6-参考-3 「PWR化学分析標準-放射性よう素」に係るコメント対応一覧表  
P11SC-6-参考-4 トリチウム分析法の検討  
P11SC-6-参考-5 PWR化学分析標準に係る策定スケジュール(案)
5. 議事
  - (1) 出席委員確認について  
中村幹事より、出席者の確認の結果、19名の委員中13名(途中出席者を含め、最終14名)の委員の出席があり、決議に必要な定足数(13名以上)を満足している旨の報告があった。
  - (2) 資料確認について  
中村幹事より、議事次第に基づき配布資料の確認を行った。
  - (3) 前回議事録の確認について  
中村幹事より、資料【P11SC-6-1】に基づき、前回議事録(案)の確認を行い、全会一致で承認された。

(4) 第2回システム安全専門部会での報告結果について

中村幹事より、1/9 に実施された標記部会において、前回のシステム安全専門部会のコメントに対する説明を行い、当分科会の活動方針の了承、ほう素中間報告に係るコメントが紹介された。また、活動方針に関して、「他学協会との連携（応力腐食割れなら機会学会、保守管理なら電気協会等）及び分科会の活動計画を立てて運営を進めていくことが重要である」などのコメントが紹介された。

(5) PWR 化学分析標準（ほう素）原案審議（第5回水化学管理分科会及び第2回システム安全部会コメント反映）

松浦・常時参加者より、資料【P11SC-6-2】、【P11SC-6-参考-1】、第2回システム安全部会資料との比較表に基づき、第2回システム安全部会コメント等の反映状況の説明があった。以下の点を反映し、次回システム安全専門部会で報告することとなった。また、各委員は2月2日までに、事務局、中村幹事、松浦・常時参加者に、その他コメントがあれば送付することとなった。

主なコメントは以下の通り。

- ・PWR 化学分析標準の翻訳に PWR を追加すること。
- ・水酸化ナトリウムと NaOH が混在するため、表現を統一すること。
- ・6.1 のなお書き以降を削除すること。（7.1 も同様）
- ・6.3 電子天びんの「原則として」の表現を見直すこと。（7.3 も同様）
- ・解説表-1 100 以下の採取量 mL と g はこれで正しいか検討のこと。
- ・解説図 2 の□が何か不明のため、記載すること。
- ・ほう素濃度とほう素溶液が混在するため、表現を統一すること。

(6) 溶存水素分析原案審議（第5回水化学管理分科会コメント反映）

水野委員より、資料【P11SC-6-3】、【P11SC-6-参考-2】に基づき、前回コメント等の反映状況の説明があった。また、各委員は2月2日までに、事務局、中村幹事、松浦・常時参加者に、その他コメントがあれば送付することとなった。

主なコメントは以下の通りであり、作業会で検討することとなった。

- ・市販の窒素ガスで問題ないのか検討のこと。
- ・隔膜法での指示値の単位について確認すること。
- ・ml の記述を見直すこと。
- ・抽出法の V1, V2 での採取量を記載すること。
- ・隔膜法の分析精度を記載すること。
- ・抽出法の分析精度を担保する内容を記載すること。
- ・隔膜法の解説の計算式の単位を見直すこと。

- ・抽出法の解説の抽出時間の記述を見直すこと。

(7) 放射性よう素分析原案審議（第5回水化学管理分科会コメント反映）

笠原・常時参加者より、資料【P11SC-6-4】、【P11SC-6-参考-3】に基づき、前回コメント等の反映状況の説明があった。また、各委員は2月2日までに、事務局、中村幹事、松浦・常時参加者に、その他コメントがあれば送付することとなった。

主なコメントは以下の通りであり、作業会で検討することとなった。

- ・各分析方法に係る分析範囲について検討すること。
- ・分析精度について、本文への規定事項等を検討すること。

(8) トリチウム分析法の説明について

笠原・常時参加者より、資料【P11SC-6-参考-4】に基づき、トリチウム分析法について説明があった。

(9) 標準原案策定概略スケジュールについて

中村幹事より、資料【P11SC-6-5】、【P11SC-6-参考-5】に基づき、今後の標準原案策定の見直し案の説明があった。BWR 化学管理指針は、このスケジュールで作業が可能か作業会で検討し、中村幹事に連絡することとなった。なお、2/16 のシステム安全専門部会に水化学管理分科会の標準原案策定概略スケジュール案を報告する。

(10) 今後の予定

- ・次回分科会は4月17日（金）午後を開催することとなった。

以 上